

リーディングDXスクール事業【実践事例】

山江村立山江中学校（熊本県）

【取組内容①】 「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」

学習課題などを自分で決めて探究する機会の提供



英語科のリーディング練習において、時間だけを設定し、個々のペースで画面や音のスピード等を自己選択する。



単元のゴールや課題、身につけるべき内容を示し、自分に合った学習の進め方や解決方法を自分で選択する。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

山江村立山江中学校（熊本県）

【取組内容①】 「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」



デジタルホワイトボードや表計算アプリを活用して、自分の学びの変容がわかるように学びを蓄積している。

自分の学びを必要なときに振り返ることができ、次の活動を調整することができるようになった。

さらに、自分の目の前にある端末から友だちの考えや活動の様子を短時間で見ることができ、多様な考えを知ることができるようになった。

他者の考えを参照することで生徒は、選択肢を増やすことができ、自分で自分の学びを調整できるようになった。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

山江村立山江中学校（熊本県）

【取組内容④】「クラウドを活用した教員研修の取組」

地域内の授業研究会等においては、複数のグループで協議を進めた。クラウドを活用したデジタルホワイトボードを使用して、授業者への質問や授業への意見・感想を交流することで、他のグループの意見を共有することができた。また、それらを蓄積していくことで、その後の授業デザインに大いに役に立った。



1学期授業研究会

各グループの意見をクラウドを活用したデジタルホワイトボードに集約し、各グループが他のグループの意見を共有できるようにした。



2学期授業研究会

まず、同じグループで各自の意見をクラウドを活用したデジタルホワイトボードに入力し、入力された意見をカテゴリー化して、各グループの協議に活用した。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

山江村立山江中学校（熊本県）

【取組内容⑤】「山江村小中学校研究発表会」

10月19日(木)に地域内外の教育関係者に広く呼びかけ、県内外から約250名の参加者があり、山江村小中学校研究発表会を開催した。山江中では1年生数学科、2年生英語科の公開授業を行った。



1年数学科 公開授業



2年英語科 公開授業



1年数学科 授業研究会



2年英語科 授業研究会